

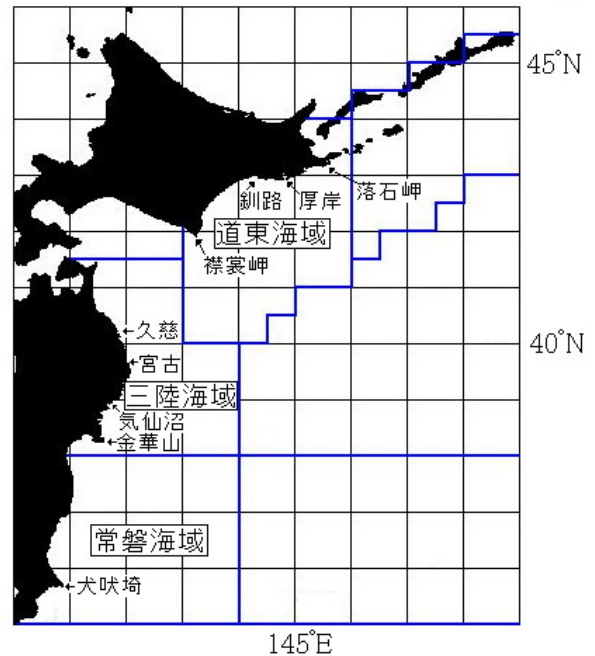
2025年度 第1回サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

今後の見通し(2025年9月中旬～10月下旬)のポイント

来遊量

- ・道東海域では、来遊量は徐々に増加し、10月上旬は中位水準になる。
- ・三陸海域では、10月下旬になると来遊がある。



海域の名称

問い合わせ先

一般社団法人漁業情報サービスセンター 水産情報部
担当：渡邊、源
電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881
当資料のホームページ掲載先URL
<https://www.jafic.or.jp/information/category/gyokyo/>

2025年度 第1回サンマ中短期漁況予報

1. 今後の見通し

予測期間：2025年9月中旬から10月下旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

1) 道東海域

(1) 来遊量

8月下旬の道東海域における来遊量は、前年を上回ったものの、低位水準であった。主漁場は、道東海域より東側の公海であったことから、道東海域に少し魚群が来遊しているものの、まだ魚群の多くは道東海域よりもさらに沖合に分布している。

道東海域に暖水塊があるが、7月下旬時点の予報と比べて発達していない状況であり、親潮第一分枝の一部が道東海域に差し込める状況になっている。これらのことから、7月下旬時点の予報より魚群の一部が道東海域へ来遊しやすくなっている。

道東海域における来遊量は、徐々に増加し、9月中旬～下旬は低位水準であるが、10月上旬～中旬は中位水準となる。10月下旬から来遊量は減少し、低位水準となる。

(2) 漁場

主漁場は道東海域よりも東側となるが、道東海域では9月中旬に落石～厚岸沖、9月下旬～10月下旬は落石～釧路沖と襟裳岬沖に漁場が形成される。

2) 三陸海域

(1) 来遊量

9月中旬～10月中旬は、魚群の来遊は無い。10月下旬は低位水準で増加する。

(2) 漁場

9月中旬～10月中旬は、漁場は形成されない。10月下旬は、三陸北部に漁場が形成される。

2. 予測の概要

海 域		9月中旬	9月下旬	10月上旬	10月中旬	10月下旬
道東海域	来遊量	→	→	→	→	→
	動向	低位増加	低位増加	中位増加	中位水準	低位減少
	漁 場	落石～厚岸沖	落石～釧路沖 襟裳岬沖	落石～釧路沖 襟裳岬沖	落石～釧路沖 襟裳岬沖	落石～釧路沖 襟裳岬沖
三陸海域	来遊量					→
	動向					低位増加
	漁 場					三陸北部

3. 漁況の経過概要（8月下旬）

1) 道東海域

(1) 来遊量

CPUE（1網あたりの漁獲量）から判断すると、道東海域における来遊量は、前年を上回ったものの、低位水準であった。

主漁場は、道東海域より東北東側の公海であった。大型船で1日1隻あたり最高で117トン程度漁獲した船もあり、CPUEは前年を上回った。

(2) 漁場

道東海域では、厚岸大黒島南南東40海里～落石南20海里に漁場が形成された。厚岸大黒島南南東40海里～落石南20海里の漁場水温16～18℃では、8月25日以降、小型船が十数隻操業し、最高45トン漁獲した。

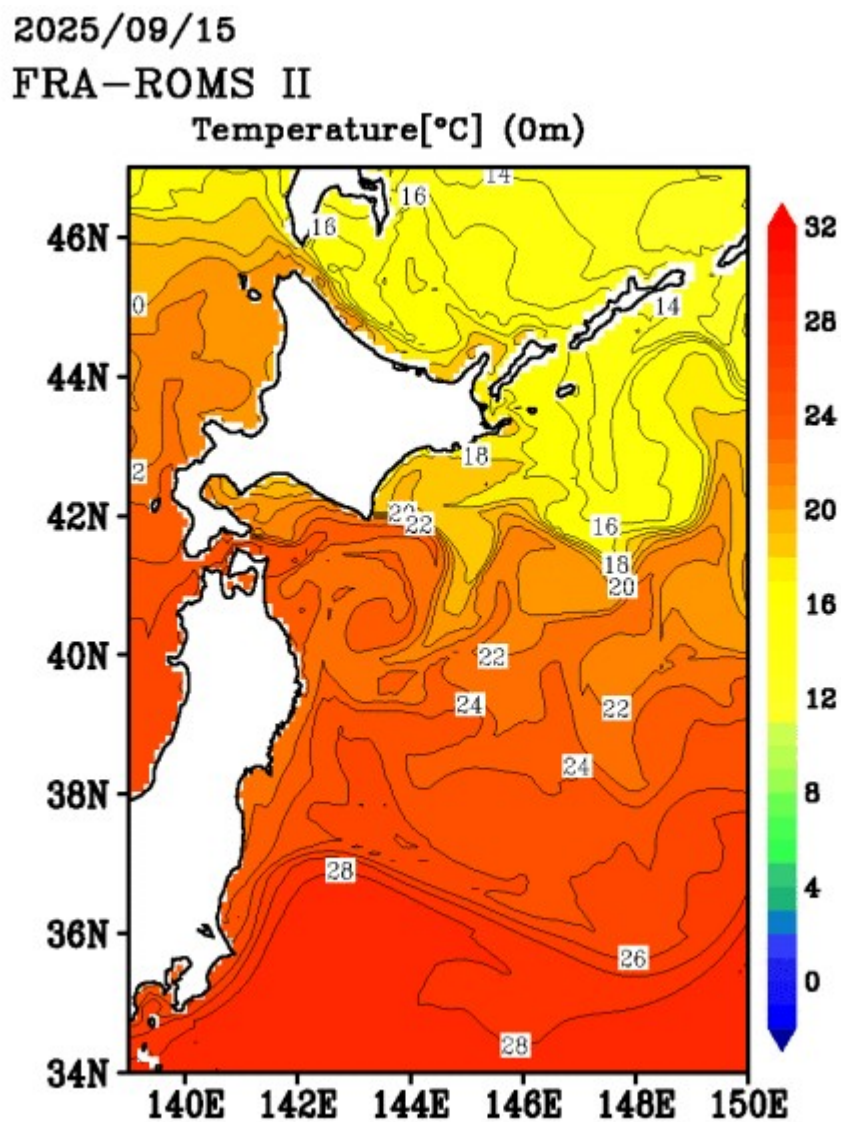
主漁場は、道東海域より東北東側の公海で、前年よりも漁場位置は北であった。落石東北東510～630海里の漁場水温11～16℃では、大型船5～40隻程度と小型船十数隻操業し、大型船で最高で117トン、平均33.7トン漁獲した。

(3) 魚体

道東海域では、体長26～31cmが主体、体重80～130g台が主体であった。道東海域よりも東北東側の公海では、体長29～31cmが主体、体重120～150g台が主体であった。前年より太っていた。

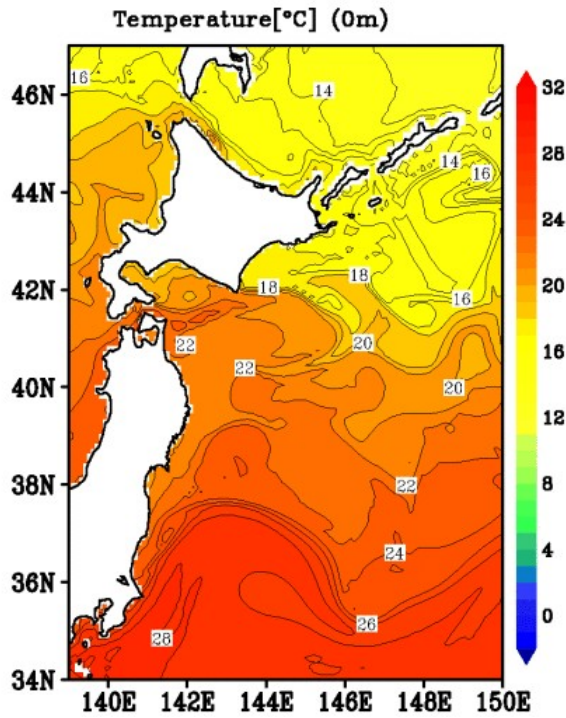
※常磐海域の予報については、第3回（9月29日発表予定）から行う。

4. 予測水温分布図

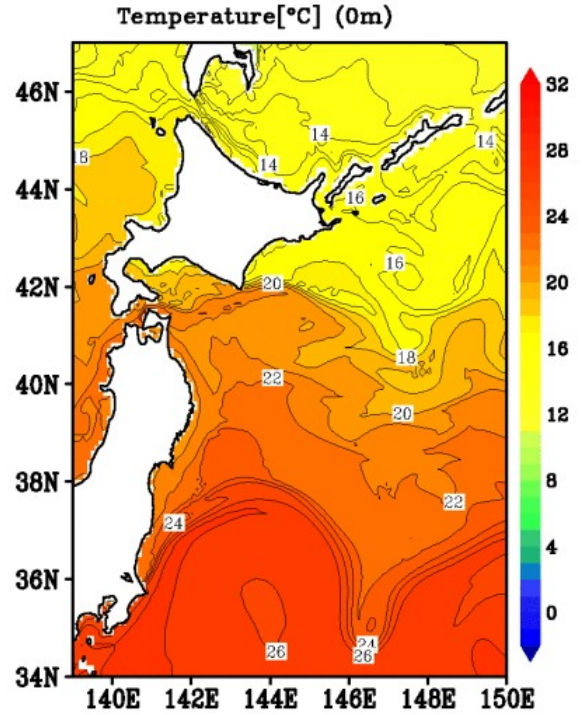


海況予測システムFRA-ROMS IIによる0m深予測水温（2025年9月15日）
2025年9月5日にHPより取得した

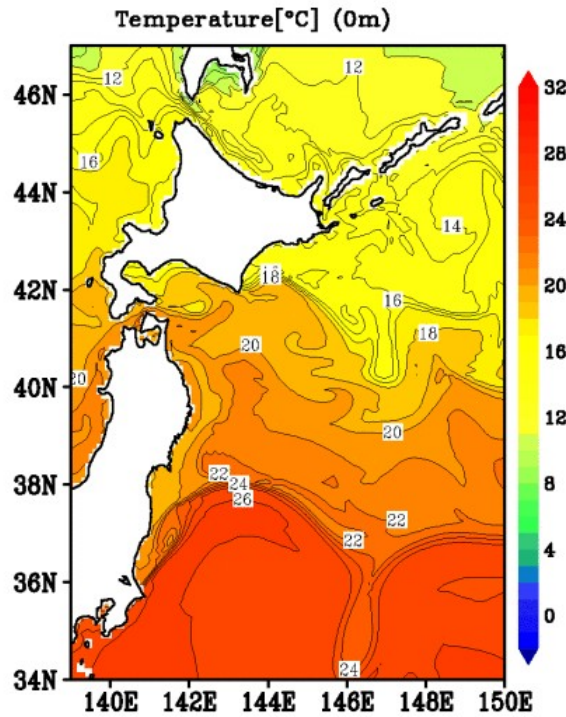
2025/09/25
FRA-ROMS II



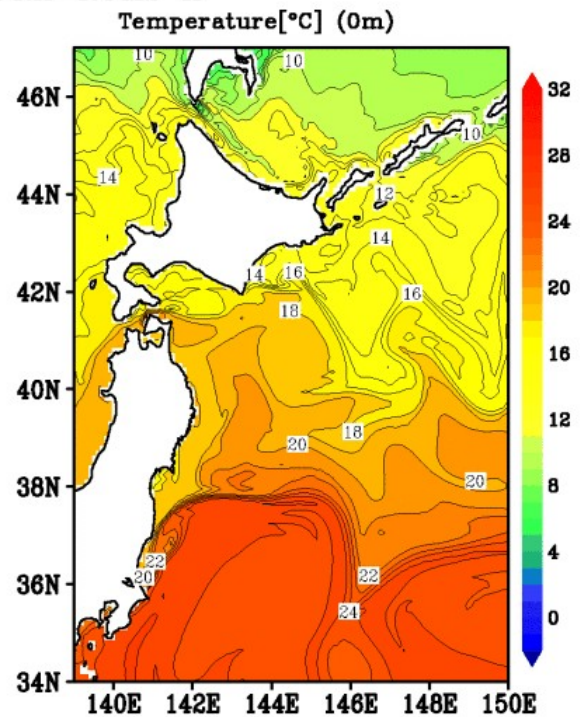
2025/10/05
FRA-ROMS II



2025/10/15
FRA-ROMS II



2025/10/25
FRA-ROMS II



海況予測システムFRA-ROMS IIによる0m深予測水温

2025年9月25日(左上)、10月5日(右上)、10月15日(左下)、10月25日(右)

2025年9月5日にHPより取得した

参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産海洋研究センター</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>国立研究開発法人 水産研究・教育機構 水産資源研究所</p> <p>(取りまとめ機関) 一般社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
--	---